

宍粟市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (21年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 20年度の人件費率
年度	人	千円	千円	千円	%	%
21	43,313	24,868,238	541,023	4,275,393	17.2	18.9

◇ 人件費には、職員給のほか特別職給与、議員報酬、その他共済組合への負担金などを含みます。

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	一般市(I-0)平均 一人当たり給与費 千円
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 B 千円		
年度	人	千円	千円	千円	千円	千円	
21	479	1,820,514	464,790	683,267	2,968,571	6,197	5,855

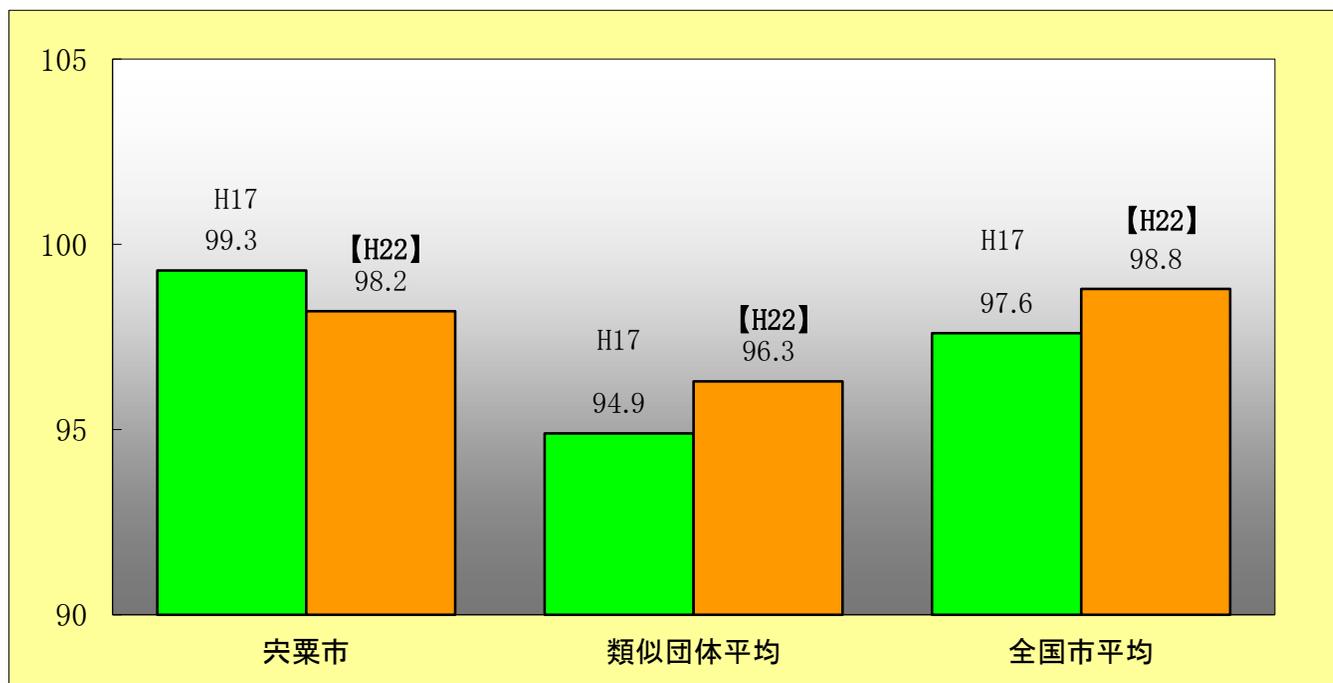
◇ 職員数は平成22年4月1日現在の給与実態調査による普通会計の人数です。

◇ 市は、政令指定都市・中核市・特例市・一般市に区分され、一般市はさらに人口や産業構造(産業別就業人口の構成比)により16の類型に分類されます(宍粟市は一般市I-0のグループに属し、同じグループの団体を「類似団体」と呼びます)。

◇ 平成20年度と比較して職員手当が約59,000千円増えていますが、災害復旧に伴う時間外勤務手当の増加によるものです。災害に係る増加分を除くと、6,074千円となります。

(3) 特記事項

(4) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



◇ ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

(5) 給与改定の状況

① 月例給

区分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A-B	勧告 (改定率)		
年度	円	円	円	%	%	%
21	-	-	(-)	-	-	0.19

②特別給

区 分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数					
	民間の支給 割合	A	公務員の 支給月数	B			較差 A-B	勧告 (改定月数)			
年度 21	—	月	—	月	—	月	—	月	—	月	3.95

- ◇ 宍粟市では人事委員会を設置していないので、国の人事院勧告などを考慮し給与改定を行っており、平成22年度は給料・期末手当・勤勉手当は国と同じ改定とし、**管理職手当は国より高い削減率で改定しています。**
- ◇ 特別給は期末手当、勤勉手当です。

2 一般行政職給料表の状況(22年4月1日)

(単位:円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600
最高号給の給料月額	243,700	309,200	356,400	395,100	407,700	429,800

- ◇ 給料月額は、給与抑制措置を行う前のものです。

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(22年4月1日現在)

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
宍 粟 市	42.9 歳	334,216 円	430,148 円	379,713 円
兵 庫 県	44.2 歳	342,700 円	436,084 円	392,882 円
国	41.9 歳	325,579 円	—	395,666 円
類似団体	43.3 歳	327,906 円	374,248 円	352,886 円

②技能労務職(公立宍粟総合病院を含みます)

区 分	公 務 員					民 間			参考 A/B
	平均年齢(歳)	職員数(人)	平均給料月額(円)	平均給与月額(円) (A)	平均給与月額(円) (国ベース)	対応する民間の類似職種	平均年齢(歳)	平均給与月額(円) (B)	
宍 粟 市	46.4	35	293,454	353,033	322,932	—	—	—	—
うち学校給食調理員・病院調理師	42.7	15	279,373	348,358	319,513	調理師	41.9	249,700	1.40
うち清掃職員	52.6	8	346,977	411,392	374,464	廃棄物処理従業員	44.6	294,000	1.40
うち看護補助員	46.0	5	256,472	282,977	276,472	—	—	—	—
兵 庫 県	49.8	907	333,700	400,869	368,813	—	—	—	—
国	49.3	3,955	284,514	—	322,291	—	—	—	—
類似団体	48.8	29	299,737	320,499	310,712	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
宍 粟 市	—	—	—
うち学校給食調理員・病院調理師	5,403,868 円	3,355,100 円	1.61
うち清掃職員	6,474,476 円	4,085,100 円	1.58

- ◇ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成19年～平成21年の3ヶ年平均)
- ◇ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、職員区分では類似する業務での比較となっており、また、民間の平均賃金・年齢の算出の際には、正規職員のほか**臨時職員やパート勤務者を含むなど、年齢、業務内容、雇用形態、平均経過年数等でその基準が異なり、完全に一致しているものではない。**
- ◇ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては、前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。
- ◇ 職員数が1人の職種については、個人情報の観点から表示していないため、職員数合計とうち書職種の職員数の合計は一致しません。

③教育職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
宍 粟 市	42.4 歳	318,155 円	358,966 円
兵 庫 県	43.8 歳	375,200 円	433,414 円
類似団体	43.3 歳	322,925 円	342,890 円

④消防職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
宍 粟 市	39.1 歳	299,776 円	379,355 円	347,980 円
都道府県	- 歳	- 円	- 円	- 円
類似団体	39.4 歳	302,127 円	358,674 円	328,062 円

- ◇ 「平均給料月額」とは、22年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
- ◇ 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
- ◇ 「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況(22年4月1日現在)

区 分		宍 粟 市	兵 庫 県	国
一般行政職	大 学 卒	172,200 円	174,330 円	172,200 円
	高 校 卒	144,500 円	140,888 円	140,100 円
技能労務職 (労務職)	高 校 卒	141,900 円	137,280 円	137,200 円
	中 学 卒	- 円	125,190 円	129,200 円
教 育 職	大 学 卒	172,200 円	194,708 円	- 円
	短 大 卒	155,700 円	172,770 円	- 円
消 防 職	大 学 卒	172,200 円	- 円	- 円
	高 校 卒	144,500 円	- 円	- 円

◇ 兵庫県の初任給の額は、減額措置後の額を掲載しています。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(22年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大 学 卒	259,150 円	306,325 円	351,720 円
	高 校 卒	- 円	- 円	308,714 円
技能労務職	高 校 卒	- 円	- 円	- 円
	中 学 卒	- 円	- 円	- 円
教 育 職	大 学 卒	- 円	- 円	- 円
	短 大 卒	- 円	- 円	- 円

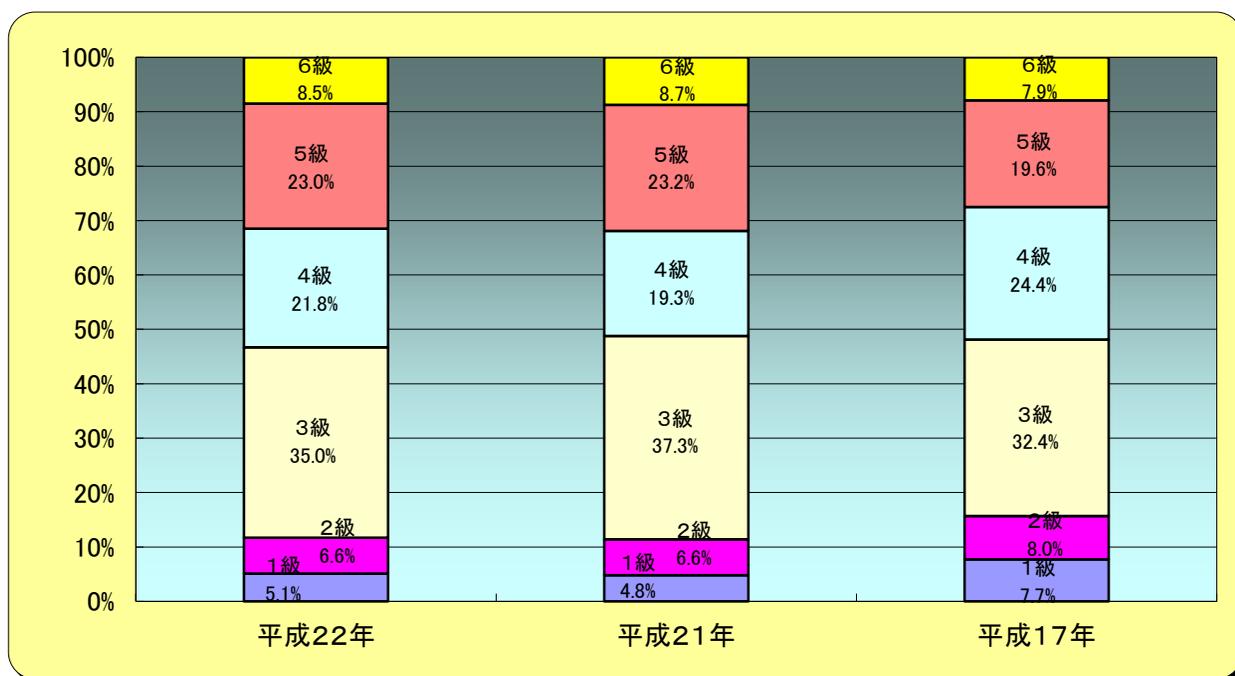
◇ 該当職員が無い場合や、対象者が1人等の場合は表示していません。

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(22年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	市民局長・市民局副局長・会計管理者・部長・次長	28人	8.5%
5級	課長・所長・副課長・室長	76人	23.0%
4級	係長・主幹	72人	21.8%
3級	係長・主査	116人	35.0%
2級	主事・技師	22人	6.6%
1級	主事・技師	17人	5.1%

- ◇ 宍粟市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
- ◇ 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



- ◇ 平成18年4月より8級制から6級制に変更しています(旧給料表の1級及び2級は1級に、4級及び5級を3級に統合しています)。

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

地方公務員法第40条に基づき、毎年1月1日を評定日として勤務評定を実施しています。(内容等については宍粟市勤務評定規則を参照)

昇級日(1月1日)前の1年間の勤務実績が良好と認められる場合は4号給昇給しますが、良好と認められない場合は、昇給しない場合も含め、市の基準により3号給以下の昇給となります。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

宍 粟 市		兵 庫 県		国	
1人当たり平均支給額(21年度) 1,440 千円		1人当たり平均支給額(21年度) 1,846 千円		—	
(21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.50)月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70)月分		(21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.50)月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70)月分		(21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.50)月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70)月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算:5・10%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算:5~20% 管理職加算:10~25%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算:5~20% 管理職加算:10~25%	

◇ ()内は、再任用(職務の特殊性などを考慮し、退職後引き続き職員を一定期間任用する制度)職員に係る支給割合です。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

地方公務員法第40条に基づき、毎年1月1日を評定日として勤務評定を実施しています。(内容等については宍粟市勤務評定規則を参照)
職員の勤務実績が良好と認められる場合は、0.7月分支給しており、良好と認められない場合は、市の基準により良好な場合の率より低い率により支給しています。

(2) 退職手当(22年4月1日現在)

宍 粟 市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
1人当たり平均支給額	8,076 千円	26,593 千円			
その他の加算措置 定年前早期退職特例加算 50歳以上で勤続20年以上 2%~20%加算 ※60歳までの年数1年につき 2%			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置:2~20%加算		

◇ 退職手当の1人当たり平均支給額は、21年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当

(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(20年度決算)		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
宍 粟 市	0 %	0 人	0 %

◇ 国の支給率は、給料と扶養手当と管理職手当の月額合計額の3%~18%とされています。

(4) 特殊勤務手当(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		6,165 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)		72,531 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(21年度)		15.7 %	
手当の種類(手当数)		11種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
感染症防疫業務従事職員手当	保健センター職員等	感染症患者等の救護等	1日当たり400円
危険又は困難業務従事職員手当	水道部等勤務職員	下水道マンホール等入孔・水道事業緊急出動	1日当たり600円
	市民局地域振興課等勤務職員	山地における特に危険又は困難な業務	1日当たり600円
	給食センター勤務職員	ボイラー作業及び維持管理業務	1日当たり600円
	当該業務に従事した者	有害物取扱業務	1日当たり600円
	当該業務に従事した者	除雪作業車運転による除雪作業	1日当たり600円
旅行死亡人の取扱業務従事職員手当	当該業務に従事した者	死人の移送及び埋火葬業務	1回当たり1,000円
ごみ、し尿取扱業務従事職員手当	しそうクリーンセンター勤務職員等	ごみ、し尿取扱業務	1日当たり600円
火葬業務従事職員手当	しそうクリーンセンター勤務職員等	火葬業務	1日当たり600円 その他火葬1体につき2,000円(小動物200円)、霊柩車の運転1体当たり1,500円
福祉事務所ケースワーカー業務従事職員手当	宍粟市福祉事務所勤務職員	ケースワーカー業務	1月当たり2,000円
診療所医師特別手当	診療所医師	診療所診療業務	1月当たり650,000円
診療所医師往診手当	診療所医師	時間外の診療(往診)業務	診療点数に10円を乗じた額の2分の1
火災等出動手当	消防署に勤務する職員	緊急時の出動(火災)	1回当たり 機関員300円、その他200円
救急出動手当	消防署に勤務する職員	緊急時の出動(救急)	1回当たり 機関員等510円、その他200円
隔日勤務手当	消防署に勤務する職員で夜間に通信業務を行う職員	隔日勤務	1当務当たり440円

◇ 平均等金額は、診療所医師にかかる手当を除きます。

(5) 時間外勤務手当

支給実績(21年度決算)	286,172 千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	728 千円
支給実績(20年度決算)	158,272 千円
職員1人当たり平均支給年額(20年度決算)	392 千円

◇ 時間外勤務手当が大幅に増加していますが、災害復旧業務に伴うものです。

(6) その他の手当(22年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (21年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (21年度決算)
扶養手当	(1)配偶者:13,000円 (2)扶養親族:6,500円 ※配偶者がいない場合 ・・・1人目:11,000円 ※16歳～23歳未満の扶養親族には5,000円加算	同	—	76,894 千円	257,170 円
住居手当	(1)借家の場合 12,000円以上の家賃を払っている場合:家賃に応じ27,000円を上限に支給。 (2)持ち家の場合 2,500円	(1)同 (2)異	国は持ち家は無し	24,972 千円	93,525 円
通勤手当	●公共交通機関利用 55千円を限度に実費	同	—	82,000 千円	149,090 円
	●自家用車等利用	(宍粟市)	(国)		
	1km未満	なし	なし		
	1km～2km未満	2,300円	なし		
	2km～5km未満	3,400円～ 5,600円	2,000円		
	5km～10km未満	6,600円～ 10,600円	4,100円		
	10km～15km未満	11,500円～ 15,100円	6,500円		
	15km～20km未満	16,000円～ 19,600円	8,900円		
	20km～25km未満	20,400円～ 23,600円	11,300円		
	25km～30km未満	24,300円～ 27,100円	13,700円		
	30km～35km未満	27,700円～ 30,100円	16,100円		
	35km～40km未満	30,600円～ 32,600円	18,500円		
	40km～45km未満	33,000円～ 34,600円	20,900円		
	45km～50km未満	35,000円～ 36,600円	21,800円		
	50km～55km未満	37,000円～ 38,600円	22,700円		
55km～60km未満	39,000円～ 40,600円	23,600円			
60km以上	400円/km 加算	24,500円			
管理職手当	市民局長:69,000円 部長級:67,000円 次長級:57,000円 課長級:52,000円 副課長級:40,000円 副所長 副園長級:30,000円	同	—	87,911 千円	578,359 円

6 特別職の報酬等の状況(22年4月1日現在)

区分	給料	月額		
		額	等	
給料 報酬	市長 ()減額前	880,000 円 (円)	(参考)類似団体における最高/最低額 1,010,000 円 / 455,000 円	
	副市長 ()減額前	712,000 円 (円)	800,000 円 / 347,500 円	
	議長	448,000 円	495,000 円 / 274,000 円	
	副議長	370,000 円	440,000 円 / 234,000 円	
	議員	346,000 円	400,000 円 / 220,000 円	
	期末手当	市長・副市長	(21年度支給割合) 4.05 月分	
	議員	(21年度支給割合) 4.00 月分		
退職手当	市長	(算定方式) 給料月額×在職月数×41/100	(1期の手当額) 17,318,400円	(支給時期) 任期ごと
	副市長	給料月額×在職月数×25/100	8,544,000円	任期ごと
	備考			

◇ 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合の見込額です。

7 職員数の状況

(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

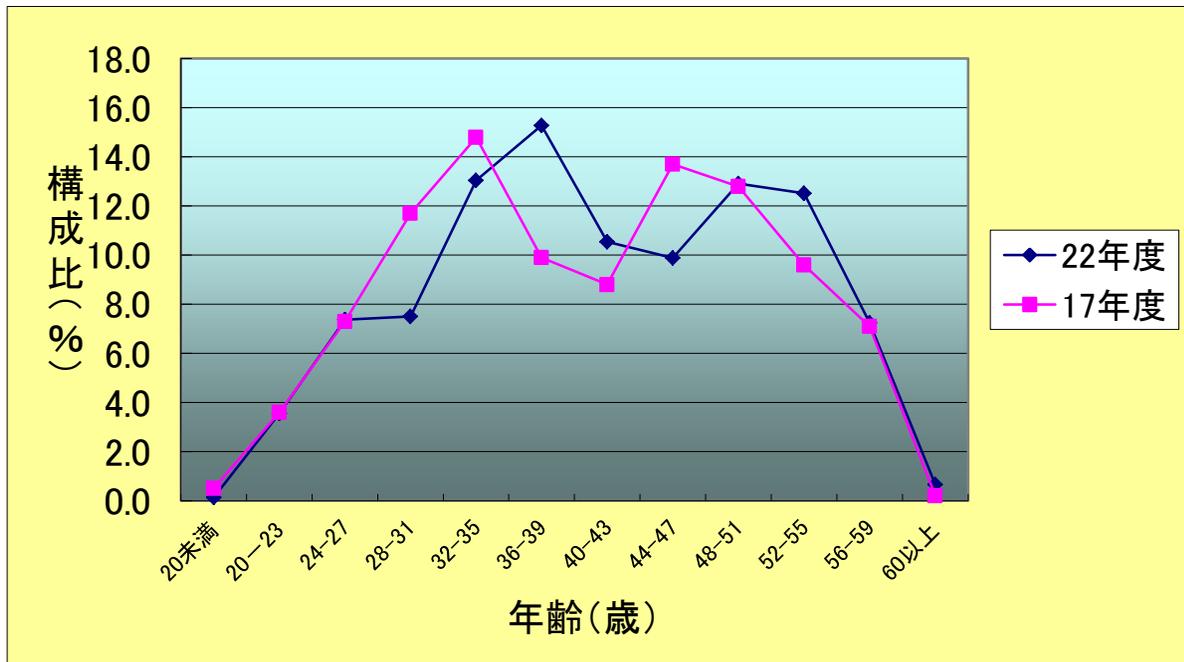
部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成22年	平成21年			
普通会計部門	一般行政	議会・総務	96	102	△ 6	・検査契約部門の整理統合による減 ・総務部門欠員不補充による減 等
		福祉	118	117	1	
		その他	107	109	△ 2	
	小計	321	328	△ 7	<参考> 人口1万人当たり職員数 74.11人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数72.08人)	
	特別行政	教育	80	83	△ 3	・教育部門の退職者不補充による減 ・消防部門の適正人数確保による増
		消防	71	69	2	
小計	472	480	△ 8	<参考> 人口1万人当たり職員数 108.97人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数97.50人)		
公営企業等	病院	239	240	△ 1	・病院部門退職者不補充による減 ・水道施設布設替等による人員増 ・国保業務体制充実による増	
	水道・下水道	28	27	1		
	その他	21	18	3		
	小計	288	285	3		
合計		760 [805]	765 [805]	△ 5	<参考>人口1万人当たり職員数 174.6人 []内は、条例定数の合計	

◇ 職員数は教育長を含む一般職に属する職員数であり、[]内は条例定数の合計です。

◇ 類団の職員数は、単純値による比較です。

◇ 職員数に任期付職員は含んでいません。

(2)年齢別職員構成の状況(22年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳)23歳	24歳)27歳	28歳)31歳	32歳)35歳	36歳)39歳	40歳)43歳	44歳)47歳	48歳)51歳	52歳)55歳	56歳)59歳	60歳以上	計
職員数(人)	1	24	61	55	86	117	93	69	82	104	62	5	759

◇ 職員数は教育長を除く一般職に属する職員数です。

(3)職員数の推移

(単位:人・%)

部門別	年度						過去5年間の増減数(率)
	17年	18年	19年	20年	21年	22年	
一般行政	365	359	351	333	328	321	▲ 44 (▲ 12.1%)
教育	120	110	97	91	83	87	▲ 33 (▲ 27.5%)
消防	72	72	71	71	69	71	▲ 1 (▲ 1.4%)
普通会計計	557	541	519	495	480	479	▲ 78 (▲ 14.0%)
公営企業等会計計	305	318	303	294	285	288	▲ 17 (▲ 5.6%)
総合計	862	859	822	789	765	767	▲ 95 (▲ 11.0%)

◇ 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

◇ 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

8 公営企業職員の状況

(1) 水道(上水道)事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益 又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 20年度の総費用に占 める職員給与費比率
年度	千円	千円	千円	%	%
21	554,082	3,405	59,921	10.8	9.7

◇ 職員給与費には、職員給のほか、法定福利費(共済組合への負担金等)を含みます。

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
年度	人	千円	千円	千円	千円	千円
21	8	33,922	6,735	12,663	53,320	6,665

(参考) 団体平均 一人当たり給与費
千円 6,567

◇ 職員手当には退職給与金を含みません。

◇ 職員数は、22年3月31日現在の人数です。

※ 上水道事業は、給水人口が5,000人以上などの条件を満たした、地方公営企業法の全部が適用される事業で、簡易水道事業とは区分されます。

イ 特記事項

→1(3)をご覧ください

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(22年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収
宍粟市(水道事業)	43.6 歳	342,311 円	569,068 円
団 体 平 均	45.6 歳	366,719 円	546,495 円
事 業 者	- 歳	-	- 円

◇ 基本給には、給料のほか扶養手当を含みます。

◇ 平均月収には全手当(期末勤勉手当は支給実額を12月で除算して積算)を含みます。

◇ 団体平均は、簡易水道事業を含む、全国の市町村(政令指定都市を除く)です。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

宍 粟 市 (水 道 事 業)	団 体 平 均
1人当たり平均支給額(21年度) 1,583 千円	1人当たり平均支給額(21年度) 1,609 千円
(21年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.40 月分 (0.70)月分	(21年度支給割合) 期末手当 - 月分 (-)月分 勤勉手当 - 月分 (-)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算:5・10%	(加算措置の状況)

◇ ()内は、再任用(職務の特殊性などを考慮し、退職後引き続き職員を一定期間雇用する制度)職員に係る支給割合です。

イ 退職手当

宍粟市（水道事業）			団 体 平 均		
(支給率)	自己都合	勲奨・定年	(支給率)	自己都合	勲奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	－ 月分	－ 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	－ 月分	－ 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	－ 月分	－ 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	－ 月分	－ 月分
1人当たり平均支給額	－ 千円	－ 千円	1人当たり平均支給額		15,624 千円
その他の加算措置 定年前早期退職特例加算 50歳以上で勤続20年以上 2%～20%加算 ※60歳までの年数1年につき2%			その他の加算措置		

ウ 地域手当

(22年4月1日現在)

支給実績（21年度決算）		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（21年度決算）		0 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
宍粟市	0 %	0 人	0 %

◇ 国の支給率は、給料と扶養手当と管理職手当の月額合計額の3%～18%とされています。

エ 特殊勤務手当(22年4月1日現在)

支給実績（21年度決算）		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（21年度決算）		0 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（21年度）		0.0 %	
手当の種類（手当数）		1種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
危険又は困難業務従事職員手当	水道部勤務職員等	水道事業緊急出動	1日当たり600円

オ 時間外勤務手当

支給実績（21年度決算）	2,813 千円
職員1人当たり平均支給年額（21年度決算）	563 千円
支給実績（20年度決算）	1,736 千円
職員1人当たり平均支給年額（20年度決算）	347 千円

◇ 時間外勤務手当が大幅に増加していますが、災害復旧業務に伴うものです。

カ その他の手当(22年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (21年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (21年度決算)
扶養手当	(1)配偶者:13,000円 (2)扶養親族:6,500円 ※配偶者がいない場合 ・・・1人目:11,000円 ※16歳～23歳未満の扶養親族には5,000円加算	同	－	895 千円	298,333 円

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (21年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (21年度決算)
住居手当	(1)借家の場合 12,000円以上の家賃を払っている場合:家賃に応じ27,000円を上限に支給。 (2)持ち家の場合 2,500円	(1)同 (2)異	国は持ち家は無し	648 千円	129,600 円
通勤手当	●公共交通機関利用 55千円を限度に実費	同	—	652 千円	93,142 円
	●自家用車等利用	(宍粟市)	(国)		
	1km未満	なし	なし		
	1km～2km未満	2,300円	なし		
	2km～5km未満	3,400円～ 5,600円	2,000円		
	5km～10km未満	6,600円～ 10,600円	4,100円		
	10km～15km未満	11,500円～ 15,100円	6,500円		
	15km～20km未満	16,000円～ 19,600円	8,900円		
	20km～25km未満	20,400円～ 23,600円	11,300円		
	25km～30km未満	24,300円～ 27,100円	13,700円		
	30km～35km未満	27,700円～ 30,100円	16,100円		
	35km～40km未満	30,600円～ 32,600円	18,500円		
	40km～45km未満	33,000円～ 34,600円	20,900円		
	45km～50km未満	35,000円～ 36,600円	21,800円		
	50km～55km未満	37,000円～ 38,600円	22,700円		
55km～60km未満	39,000円～ 40,600円	23,600円			
60km以上	400円/km 加算	24,500円			
管理職手当	部長級:67,000円 次長級:57,000円 課長級:52,000円 副課長級:40,000円	同	—	1,734 千円	577,877 円

(2) 病院(公立宍粟総合病院)事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益 又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 20年度の総費用に占 める職員給与費比率
年度	千円	千円	千円	%	%
21	3,505,379	△ 332,239	1,683,960	48.0	48.3

◇ 職員給与費には、職員給のほか、法定福利費(共済組合への負担金等)を含みます

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
年度	人	千円	千円	千円	千円	千円
21	222	814,750	343,791	279,239	1,437,780	6,476

(参考)団体平均 一人当たり給与費 千円
6,852

◇ 職員手当には退職給与金を含みません

◇ 職員数は、22年3月31日現在の人数です

イ 特記事項

→1(3)をご覧ください

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(22年4月1日現在)

区 分	基本給	平均月収	平均年齢
病院事業会計	310,608 円	539,707 円	39.5 歳
うち医師	508,121 円	1,588,917 円	48.4 歳
うち看護師	281,423 円	432,338 円	37.1 歳
うち事務職員	351,262 円	525,732 円	45.6 歳
団体平均	— 円	— 円	— 歳
うち医師	568,024 円	1,362,558 円	43.6 歳
うち看護師	289,210 円	458,998 円	37.8 歳
うち事務職員	345,719 円	527,590 円	44.8 歳
事業者		469,811 円	39.6 歳

◇ 基本給には、給料のほか扶養手当を含みます。

◇ 平均月収には、平成21年度の全手当(期末勤勉手当は支給実額を12月で除算して積算)を含みます。

◇ 民間事業者平均は、民間給与実態調査(兵庫県人事委員会資料)より

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

宍 粟 市 (病 院 事 業)	団 体 平 均
1人当たり平均支給額(21年度) 1,258 千円	1人当たり平均支給額(21年度) 1,416 千円
(21年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.75 月分 1.40 月分 (1.45)月分 (0.70)月分	(20年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 — 月分 — 月分 (—)月分 (—)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算:5・10%	(加算措置の状況)

◇ ()内は、再任用(職務の特殊性などを考慮し、退職後引き続き職員を一定期間雇用する制度)職員に係る支給割合です

イ 退職手当(22年4月1日現在)

宍 粟 市 (病 院 事 業)	団 体 平 均
(支給率) 自己都合 勸奨・定年	(支給率) 自己都合 勸奨・定年
勤続20年 23.5 月分 30.55 月分	勤続20年 — 月分 — 月分
勤続25年 33.5 月分 41.34 月分	勤続25年 — 月分 — 月分
勤続35年 47.5 月分 59.28 月分	勤続35年 — 月分 — 月分
最高限度額 59.28 月分 59.28 月分	最高限度額 — 月分 — 月分
1人当たり平均支給額 9,537 千円 — 千円	1人当たり平均支給額 6,960 千円
その他の加算措置 定年前早期退職特例加算 50歳以上で勤続20年以上 2%~20%加算 ※60歳までの年数1年につき2%	その他の加算措置

◇ 退職手当の1人当たり平均支給額は、21年度に退職した職員に支給された平均額です

ウ 地域手当

(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		0千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)		0円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度(支給率)
宍粟市	0%	0人	0%

◇ 国の支給率は、給料と扶養手当と管理職手当の月額合計額の3%~18%とされています。

エ 特殊勤務手当(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		35,764千円		注:医師に対する手当は除く	
支給職員1人当たり平均支給年額(20年度決算)		174,458円			
職員全体に占める手当支給職員の割合(20年度)		91.5%			
手当の種類(手当数)		15種類			
	手当の名称	主な支給対象職員	左記職員に対する支給単価		
公立宍粟総合病院の特殊勤務手当	放射線取扱手当	放射線技師	7,500円		
	細菌検査手当	検査技師	150円		
	医師職務手当	医療業務に従事する医師	給料月額の100%以内		
	医師特別技能手当	医療業務に従事する医師	年数に1万円を乗じて得た額。ただし上限を20万円とする。		
	遺体処置手当	遺体処置作業に従事した看護師、助産師及び准看護師	1,000円		
	遺体搬送業務手当	遺体の搬送業務に従事した運転手	1,000円		
	年末年始勤務加算手当	医師 24時間勤務		40,000円	
		医師 日直勤務		16,000円	
		医師 宿直勤務		20,000円	
		医師以外 宿直勤務		3,000円	
		医師以外 日直勤務		3,000円	
	年末年始勤務手当	看護師、助産師、准看護師、看護補助員及び調理員		4,500円	
	夜間看護手当	深夜における勤務時間が4時間以上		3,300円	
		2時間以上4時間未満		2,900円	
		2時間未満		2,000円	
	緊急出勤手当	緊急呼出を受け業務に従事した職員 深夜		2,000円	
		緊急呼出を受け業務に従事した職員 深夜以外		1,500円	
	待機手当	休日又は時間外に待機を命じられた医師		8,000円	
緊急診療従事手当	深夜		4,600円		
	深夜外		3,800円		
研究手当	医師		治験契約に基づく病院収入の範囲内で市長が定める額		
出張診療手当	診療所等に出張診療を命じられた医師		25,000円		
検診及び指導手当	医師及び技師の職にある者		検診、指導業務等契約に基づく病院収入の範囲内で市長が定める額		

オ 時間外勤務手当

支給実績（21年度決算）	58,621 千円
職員1人当たり平均支給年額（21年度決算）	264 千円
支給実績（20年度決算）	67,627 千円
職員1人当たり平均支給年額（20年度決算）	302 千円

◇ 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みます。

カ その他の手当（22年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (20年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (20年度決算)
扶養手当	(1)配偶者:13,000円 (2)配偶者以外の扶養親族:6,500円 ※配偶者がいない場合 ・・・1人目:11,000円 ※16歳～23歳未満の扶養親族には5,000円加算	同	—	18,297 千円	223,134 円
住居手当	(1)借家の場合 12,000円以上の家賃を払っている場合:家賃に応じ27,000円を上限に支給。 (2)持ち家の場合 2,500円	(1)同 (2)異	国は持ち家は無し	8,419 千円	122,014 円
通勤手当	●公共交通機関利用 55千円を限度に実費	同	—	32,003 千円	157,650 円
	●自家用車等利用	(宍粟市)	(国)		
	1km未満	なし	なし		
	1km～2km未満	2,300円	なし		
	2km～5km未満	3,400円～ 5,600円	2,000円		
	5km～10km未満	6,600円～ 10,600円	4,100円		
	10km～15km未満	11,500円～ 15,100円	6,500円		
	15km～20km未満	16,000円～ 19,600円	8,900円		
	20km～25km未満	20,400円～ 23,600円	11,300円		
	25km～30km未満	24,300円～ 27,100円	13,700円		
	30km～35km未満	27,700円～ 30,100円	16,100円		
	35km～40km未満	30,600円～ 32,600円	18,500円		
	40km～45km未満	33,000円～ 34,600円	20,900円		
	45km～50km未満	35,000円～ 36,600円	21,800円		
	50km～55km未満	37,000円～ 38,600円	22,700円		
55km～60km未満	39,000円～ 40,600円	23,600円			
60km以上	400円/km 加算	24,500円			

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (20年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (20年度決算)
管理職手当	院長級:110,000円 副院長: 90,000円 診療部長:72,000円 部長:71,000円(64,000円) 副部長:45,000円 事務部長:67,000円 事務部次長:57,000円 課長級:52,000円 副課長級:40,000円 看護部長:57,000円 看護副部長:52,000円 看護師長:40,000円 薬剤部長:52,000円 技師長:40,000円 技師長補佐級:30,000円	同	—	22,814 千円	600,368 円